



新しい事に挑戦する若者に、期待することやアドバイスはありますか。



幹部の皆さんや企業の経営者などが口を揃えて言っているのは「若い人たちの意見を聞きたい」「若い人たちがどんどん活躍できるようにしていかないと、社会も会社も成り立たない」ということ。若い世代は不安もあるかもしれませんが、意見をもっと聞いて、どうしたら活躍できるかを一緒に考えていきたいという人が多いので、遠慮せずにどんどん頑張ってもらえるといいなと思います。あとは、個人差があるかもしれませんが、私はやりたい事に挑戦していく性格。チャレンジして失敗しても、そこから得るものが多いし、失敗できるのも若いうち。若者の特権として言いたいことを言ったり、チャレンジして失敗したり、楽しんでもらいたいと思います。

目上の人と話す時に、私たち世代は教えてもらう立場に徹して聞く専門になりがち。目上の人から耳を傾けてくれるとすごくうれしいです。



大事ですよ。
ぜひ大きく書いて
ください！



緊張することはありますか。



いつも緊張しています。あいさつは堅い話ができず緩くなってしまうがちで「もっと上手に伝えられたら良かったな」と思うことも。人と接する時は、あまり気負わず素のままで接し、笑顔で楽しく話せる雰囲気づくりを心がけています。

緊張している
ように見えなくてす！



緊張すると
言い忘れたり失敗したりして
しまうことがありますか？



**広報紙に対する
思いを聞かせてください。**



情報をしっかり伝えるためのツールとして広報紙は大事。タウンミーティングで、市の情報を何から得ているか聞いたところ、大体の人が広報紙でした。皆さんに見てもらっているからこそ、これからもしっかり情報を伝えていき、スマホからも情報が得られるようデジタルでの発信にも力を入れていきたいです。

編集後記



齋藤

「市長」と聞くと、とても程遠いような存在に感じていましたが、今回の取材でプライベートの話も少し聞いたことで、これまでよりも小川市長を身近な存在として感じるようになりました。有意義な時間となり、取材の時間があっという間に終わってしまいました。



中島

「もっと若者は意見や考えを言ってい」という言葉に、とても勇気づけられました。そんな温かく耳を傾けてくれる相手に対し、自分の考えや思いを伝えられるよう、身の回りのことや社会のことに対し、自分の考えを持つことを大切にしていきたいと感じました。大好きな我が街・前橋市について考え、発信することも継続していきたいです。



茂木

私は特に「若者の特権」の話が印象に残っています。新しい環境では、チャレンジしてみたい意欲と、周囲に迷惑をかけてしまうのではないかと不安の狭間で悩むことがあります。新しい環境に多く飛び込む年代だからこそ今は行動的に挑戦し、多くを学んでいこうと思えました。短い時間でしたが、終始和やかで充実した楽しいインタビューでした。



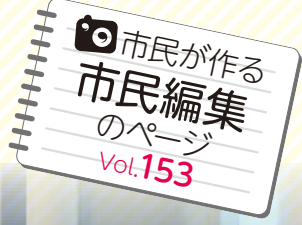
師田

前橋市に対する思いなどを聞いて、改めて前橋市の良さを再確認でき、自分自身も貢献したいという気持ちになりました。私たちの話をたくさん聞いてくださり、雰囲気も和やかで、楽しく取材ができました。これからも取材を通して前橋市の魅力を知っていき、伝える活動をしていきたいです。

小川市長に聞いてみよう

☎ 秘書広報課 027-898-6642

文：ワカモノ記者・齋藤 舞奈、中島 千尋、茂木 春香、師田 紗帆



ワカモノ
記者
インスタ
グラム



昨年2月に本市の市長に就任して今年で一年となる小川市長にインタビュー。この一年の振り返りや広報紙、若者への思いを聞きました。

撮影場所：本庁舎・議会庁舎接続通路



どんな一年でしたか。



忙しい毎日ですが、さまざまな所でイベントなどに参加して、市民の皆さんと一緒に前橋市のことを考え、まちづくりを進めていくことが、少しずつできていかなと思っています。また、学生と話す機会が多いのですが、大人がはっとさせられることも多くあり、行政はもっと若者の意見を取り入れていくべきだなと感じています。



一年前と比べて、自身の変化をどのように感じていますか。



県議会議員の時も忙しかったですが、今は前橋市に関わる人と幅広く会うので、世界がすごく広がりました。やはり責任感を持って、「33万人の市民の皆さんと一緒にやっていきましょう！」と常に意識しているので、すごく変わったと思います。



前橋市のどんなところが良いと感じますか。



自然やおいしい食べ物など、良いところは数えきれないほどたくさんありますよね。中でも、特に歴史が興味深いと感じました。松平大和守家顕彰祭や総社秋元公歴史まつりではよろいなどを着用し、実際に歴史を感じることができました。本年は終戦して80年。昨年は平和関連企画をたくさん実施し、まちなかで爆撃照準点にマンホールを設置したり、復興資料館を整備したりしています。これからも市民みんなで前橋市の歴史を伝承し続けたいと思います。

取材しました

初市
まつり



総社秋元公
歴史まつり

